



教科名：懸架装置

2025年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時期：1年後期

科目：自動車整備作業

時限数：32時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY19			
FY20	内容確認 変更なし	3/10	合田
FY21			
FY22	内容確認 変更なし	3/19	村上
FY23	シラバスメンテナンス	6/1	合田
FY24			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科

2025年度

授業計画

時 期	1年後期	単元	実習	教科名	懸架装置		
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	三級自動車シャシ		発行日	2019/1/23新規	
			二級自動車シャシ				
※ 注1 総時限	32時限		学習ノート(初回授業時配布)		教科担 当	森田 秀一	※ 注2 ● ■
※ 注2 授業時間	51.2時間						※ 注2 ● ■

一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1944時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1800時間（50分ベース））

1. 指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として懸架装置作業の実務経験がある教員により懸架装置の分解組立について指導する

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①ドライブシャフトの分解、組み立てができる。
②サスペンションの脱着ができる。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①ドライブシャフトを車両から取り外し、ブーツの脱着、交換ができる。
②ストラットを車両から取り外し、スプリングの脱着、交換ができる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

実習評価点は、技術評価点（70点）+レポート評価点（15点）+取組評価点（15点）とし、
60点以上（工学科は70点以上）を合格とする

技術評価点

実技試験 70%

- ①ドライブシャフト分解・組み立て
②ストラット脱着
③ストラット分解・組み立て

筆記試験：30%

- ①名称試験

5. 準備学習

・二・三級自動車シャシ、学習ノートの該当項目について予習しておく。

※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す

※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者

6. 指導目標

- ①車両からのドライブシャフト脱着と分解・組立方法について理解させる。
②サスペンションの種類、特徴について理解させる。
③車両からのストラット脱着とストラットの分解・組立方法について理解させる。

2025年度 授業計画

[illegible]

作業テーブル1台当たり3～4名（6グループ）で実習を行